



『骨太の方針』起草PT委員会

委員長 細谷 英二
 リソナホールディングス
 取締役兼代表執行役会長

1945年熊本県生まれ。68年東京大学法学部卒業後、日本国有鉄道入社(87年4月民営化に伴い東日本旅客鉄道へ)。93年取締役、96年常務取締役、2000年代表取締役副社長、2003年6月リソナホールディングス代表取締役兼代表執行役会長に就任。95年4月経済同友会入会、98～2001年度および2008年度より幹事、2002～2007年度副代表幹事、97～2000年度行政委員会副委員長、97～98年度地方自治プロジェクト・チーム座長、98～2000年度地方活性化委員会副委員長、98～2001年度経済懇談会世話人、2000年度諮問委員会副委員長、2001年度行政委員会副委員長、2002年度行政財政委員会委員長、2003～2005年度諮問委員会委員長、2004～2005年度マニフェスト評価プロジェクト・チーム委員長、2006年度構造改革進捗レビュー委員会委員長、2007～2008年度経済情勢・政策委員会委員長、2008年度通信と放送の在り方を考える勉強会座長、2008～2009年度公益社団移行委員会副委員長、2009年度『骨太の方針』起草PT委員長、情報通信政策委員会委員長。

委員 (役職は7月21日現在)

秋池 玲子 (ポストコンサルティンググループ パートナー&マネージング・ディレクター)

稲葉 延雄 (リコー 特別顧問)

梶川 融 (太陽ASG有責任監査法人 総括代表社員)

門脇 英晴 (日本総合研究所 特別顧問)

藤森 義明 (日本GE 取締役社長兼CEO)

古川 紘一 (森永乳業 取締役社長)

吉村 幸雄 (日興シティホールディングス ガバメント・アフアーズ担当執行役員)

米澤 健一郎 (ソニー学園 理事長)

チャールズD.レイクII
 (アフラック(アメリカンファミリー生命保険)
 日本における代表者・会長) 以上

経済構造、制度設計、財政規律を重点課題に さらなる構造改革に取り組む

内需・外需のバランスのとれた グローバル競争に勝てる経済構造を

昨年の金融危機から世界同時不況を経て、輸出産業に過度に依存している日本経済の構造的弱さが露呈しました。構造改革が遅々として進まないために、政府は持続的な経済成長の姿を国民に示せていません。私たちはこのことに危機感をもって議論を重ね、経済同友会版の『骨太の方針』をまとめました。

「強い経済の確立」「信頼される制度の構築」「財政健全化」という3本柱に沿った構造改革が必要です。まず、強い経済を確立するためには、内需・外需のバランスのとれた経済構造を構築しなければなりません。内需面では規制緩和への取り組みを加速させ、医療・介護・農業等の分野で改革を進めることです。外需面では、法人税減税を柱にグローバル競争に勝てる日本経済をつくることです。スクラップ&ビルドがしやすい枠組みでなければ成長戦略は描けません。

信頼される制度を構築するためには、国民目線と持続可能性が重要です。

社会保障でも財政でも制度設計の鍵は“持続可能性”です。社会保障制度は税制改革と一体であり、受益と負担のバランスをとる制度設計が必要です。そのため、消費税を社会保障を支える基幹税とする方針を税制改革の中に盛り込んでいます。さらに、地方分権改革を進め、国民に身近なところで受益と負担の見える化を進めなければなりません。

また、一票の格差の問題、マニフェスト政治の実現も重要です。各政党には政局でなく政策本位で議論して頂きたい。議院内閣制のあり方や議員定数の問題など政治の仕組みそのものを見直し、これからの変化に対応できる体制、信頼される政治を確立してほしいと思います。公務員制度改革も避けては通れません。今、政治の不安定さから官僚が官の利益を守る行動に走りかねない状況です。国民目線の政治・行政こそが、信頼される制度の構築に不可欠です。

法的な縛りを整備してでも 財政規律の確立は急務

財政健全化については、2011

年度までのプライマリーバランス黒字化という「骨太の方針2006」以来の歩みが一気に振り出しに戻り、枠組みの再設定が必要となりました。持続可能な財政は経済成長、信頼される制度の下地になりますから、景気優先の中でも、財政健全化法(仮称)という法的な縛りを整備し財政規律を確立するべきとのメッセージを發しました。一方、これまでは国民負担率40%の持続を目標としていましたが、財政の悪化を受けて、中負担の目安である50%を上限に税制・財政の枠組みを考えるべきです。ただし先送りではなく、例えば基礎的財政収支の赤字幅を毎年1～2%ずつ削減するなど短期のきちんとした目標設定も重要だと強調しています。

以上の課題に取り組むにあたり、2012年度までを集中改革期間に設定しました。これらの課題についてしっかり議論し、着実に構造改革を進めていかねばなりません。

友会版「骨太の方針」は5-6ページに掲載